



中津市監査委員告示第 4 号

令和2年1月10日付け中監第620号で提出した財政援助団体監査の報告に対し、中津市長から、措置を講じた旨の通知があったので、地方自治法第199条第12項の規定により別紙のとおり公表する。

令和2年2月18日

中津市監査委員 永 松 末 利

中津市監査委員 林 秀 明

措置状況報告書

監査の名称：令和元年度 財政援助団体監査

課 名：本耶馬溪支所 地域振興課

指摘事項	措置内容又は措置方針等	備考
<p>[実施団体名] 青にこだわるまちづくり実行委員会</p> <p>[補助金等名] 中津市周辺地域振興対策事業補助金</p> <p>[所管部局・課] 本耶馬溪支所地域振興課</p> <p>I. 団体に対する事項 (指摘事項)</p> <p>①事業費補助については、交付決定後に着手することが原則でありながら交付決定前にチラシ印刷などが行われていた。</p> <p>また、要綱で補助対象外経費としていた食糧費を補助対象経費として計上されていた。</p> <p>補助対象経費について、適正な実績報告の再提出を求める。</p> <p>②出入金の伝票を作成しておらず、会計担当者みでの判断で出入金が行われているように見受けられ、チェック体制が不十分である。</p> <p>出入金の伝票を作成し、会計処理のチェック体制の強化の確立を求める。</p> <p>③イベント会場の設営費用などの経費が支出されていることから、出店料の徴収や協賛金を募る等、自助努力の推進を図ることを求める。</p>	<p>①ご指摘のとおり、補助対象外経費がありましたので、令和元年12月27日に実績報告書を再提出し、令和2年1月31日に補助金65,000円を返還しました。</p> <p>今後は、事業執行について、確認を十分に行い、適正な事務処理に努めます。</p> <p>②会計処理については、出入金の伝票を作成し、会長の決裁によるチェックを行い、適正な会計処理を行います。</p> <p>③今回のイベント会場の出店者については、ネモフィラ栽培に参加いただいた団体に限定したものとしました。ネモフィラ栽培については、種まきから除草作業まで、各団体にはボランティアで作業をお願いしていることから、イベント当日の出店料については徴収していませんでした。</p> <p>今後のイベント開催については、イベントのあり方を考えるとともに、出店料の徴収についても検討し、自助努力の推進を図ります。</p>	

<p>Ⅱ. 所管課に対する事項 (指摘事項)</p> <p>①補助金の交付決定や額の確定は、交付申請書の収支予算書や実績報告書の収支決算書等を適確に審査したうえで行わなければならないが、補助対象経費に該当しない事業内容が含まれていた。</p> <p>　　今後は、交付申請書や実績報告書等について、より一層記載内容を精査確認のうえ、適正な事務処理を求める。</p>	<p>①ご指摘のとおり、補助対象外経費がありましたので、実績報告書の再提出を求め、再審査し、令和2年1月8日に額の確定を行い、令和2年1月31日に返還金65,000円を受領した。</p> <p>　　今後は、交付申請書や実績報告書等の内容を十分精査し、適正な事務処理を行ってまいります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

措置状況報告書

監査の名称：令和元年度 財政援助団体監査

課 名：耶馬溪支所 地域振興課

指摘事項	措置内容又は措置方針等	備考
<p>[実施団体名] 耶馬溪新緑まつり実行委員会</p> <p>[補助金等名] 中津市観光イベント支援補助金</p> <p>[所管部局・課] 耶馬溪支所地域振興課</p> <p>I. 団体に対する事項 (指摘事項)</p> <p>① 出入金の伝票は会計担当者の押印だけで、会計担当者のみ判断で出入金が行われているように見受けられた。 会計の事務決裁規程を設けるなど会計事務のチェック体制の見直しを求める。</p> <p>② チラシやポスターの印刷費用など、数社の見積りによる経費節減を求める。</p> <p>③ ウォークラリー募集人数は50人うち参加者37名に対し、上位10人に景品(8,500円～1,100円)と併せて商品券(2,000円～1,000円)を贈呈している。 ウォークラリー参加者は1,000円の参加費用を徴収しているが、全員に1,000円分の食事券を配布し実行委員会がその費用を負担している。 参加費用を大幅に上回る景品の内容や商品券の配布の必要性の見直しを求める。</p> <p>④ イベント会場の設営費用などの経費が支出されていることから、出店料の徴収や協賛金を募る等、自助努力の推進を図ることを求める。</p> <p>⑤ 来場目標1,000人に対し、来場者数は約150人と、目標数を大幅に下回っている。集客につながる開催日程や会場設定、イベントの内容を所管課と十分協議検討するよう求める。</p>	<p>① 会計事務について、会計担当者の押印だけでなく、新緑祭り担当者及び実行委員長が決裁を行うよう体制を見直しました。 今後は、事務処理規定を設け適正な会計処理を行ってまいります。</p> <p>② 今後は、複数社の見積りを実施し、効果的な事業実施に努めます。</p> <p>③ 耶馬溪地域の特産品の知名度の向上や、商品購入による地域経済の活性化を図るため景品の贈呈をしていた。 今後は実行委員会で募集人数や参加費用、景品の金額等の協議を行い、効果的な事業実施に努めます。</p> <p>④ 出店料の徴収や協賛金については、今後、実行委員会にて検討します。自助努力を促進し健全運営に努めます。</p> <p>⑤ 担当課と実行委員会で会議を行い、来年度はゴールデンウィークの5月3日(日)の実施や、イベント内容別にターゲットを設定するなど、集客につながるイベントの内容・開催場所等を再度検討し、多くの来場者を確保できるイベントとなるよう市と連携し取り組んでいくよう決定したところです。</p>	

Ⅱ. 所管課に対する事項

(指摘事項)

①来場目標1,000人に対し、来場者数は、平成29年度は約350人、平成30年度は未開催、令和元年度は約150人(天候が雨)と、目標数を大幅に下回っている。

補助金の削減を含め、集客につながる開催日程や会場設定等、魅力あるイベントになるよう実行委員会と十分協議検討し再構築することを求める。

②中津市のホームページに新緑まつりの開催告知はしていたが、観光カレンダー及び新緑特集のコーナーに新緑まつりを紹介する記事は掲載されていなかった。また、中津耶馬溪観光協会のホームページに新緑まつりの記事はあったが、2年前の会場を案内しており記事が更新されていなかった。

行政側の取組みとして、観光イベントが成功するよう関係機関と連携を図ることを求める。

①今回の指摘後に、実行委員会との会議を行い、補助金の削減も含めイベントの内容・開催場所等を再度検討するよう指導を行い、市と一緒に地域活性化に繋がるイベントの実施に取り組んでいくよう意思統一を図りました。

②中津市のホームページについては、告知と開催模様をホームページに上げておりましたが、今後このようなことのないよう、的確な情報共有と処理に努めていきます。

また、関係機関とは密に連携しイベントを成功に導けるよう、的確な処理に努めていきます。